

2013（平成25）年度総会および関連行事のお知らせ

総会およびその後の諸行事を下記のとおり開催いたします。会員各位多数ご出席下さいますようご案内します。

2013年度総会

- 日時** 2013年5月24日（金）13時～14時20分
- 場所** 千里ライフサイエンスセンタービル 801-802号室
〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2 TEL. 06-6873-2010
<http://www.senrilc.co.jp/access/access.html>
- 次第**
1. 会長挨拶
 2. 会務報告
 3. 監査報告
 4. 議事
審議事項 (1) 2012年度事業報告（案）の件
(2) 2012年度決算（案）の件
(3) 2012年度監査報告（案）の件
(4) 役員選任に関する件
報告事項 (1) 2013年度事業計画の件
(2) 2013年度予算の件
 5. その他

2013年度第2回理事会

- 日時** 2013年5月24日（金）14時30分～15時30分
- 場所** 千里ライフサイエンスセンタービル 603-604号室
※終了後に生物工学懇話会に合流

第18回生物工学懇話会

- 日時** 2013年5月24日（金）14時30分～17時30分
- 場所** 千里ライフサイエンスセンタービル 801-802号室
※詳細は次ページ参照

懇親会

- 日時** 2013年5月24日（金）17時30分～19時
- 場所** 千里ライフサイエンスセンタービル 603-604号室
- 会費** 5,000円
- 申込方法** 懇親会参加者は原則として予め参加申込してください。①氏名、②住所ならびに所属、連絡先TEL/FAX/E-mail、③会員種別を明記して、下記の申込先までFAXまたはE-mailをお送りください。
- 締切日** 2013年5月10日（金）
- 申込先** 日本生物工学会事務局 TEL. 06-6876-2731 FAX. 06-6879-2034 E-mail: info@sbj.or.jp

第18回生物工学懇話会

日時 2013年5月24日（金）14時30分～17時30分
場所 千里ライフサイエンスセンタービル801-802号室
参加費 無料

プログラム (司会：大政 健史)
 14：30～14：40 開会の挨拶 原島 俊

14：40～15：30 講演1「**生物工学と私の夢について**」 (名古屋大学大学院・准教授) 大河内美奈
 学生時代よりバイオセンサや微生物の電気化学的制御に関する研究を行い、現在は医用デバイスの開発に関する研究を進めている。最先端・次世代研究開発支援プログラムでは、患者数が近年増加している食物アレルギーに注目し、抗原タンパク質のアミノ酸配列を配置したペプチドアレイを作製することにより抗体エピトープに関する詳細な解析を行い、病態モニタリングシステムの開発を進めている。生物工学を基礎として問題発見解決型の研究を進め、環境や医療分野におけるバイオセンシング技術の研究開発に貢献したい。(座長：貝沼 章子)

15：30～16：20 講演2「**パネルディスカッション：若手学生を交えて50年後の生物工学について**」
 飛翔賞受賞（北海道大学大学院）佐藤 康史
 （名古屋大学大学院）佐々木寛人
 （大阪大学大学院）仲嶋 翼
 （広島大学大学院）小寺 星

日本生物工学会では、創立90周年記念事業の一環として、博士課程に進学する21世紀を担う優れた研究業績を挙げることを期待されている若手学生会員に生物工学学生優秀賞（飛翔賞）を授与している。本講演では、記念すべき第一回の受賞者4名に、50年後の生物工学について、それぞれの未来の夢や期待する事柄を語って頂き、さらに学会執行部と受賞者を交えて生物工学の今後の50年の発展や人類社会への貢献について討議する。(座長：大政 健史)

16：20～16：35 休憩

16：35～17：25 講演3「**幕末の薩摩と会津～酒文化の比較**」 (志学館大学人間関係学部・教授) 原口 泉
 会津と薩摩は日本酒と焼酎の名産地である。歴史的に両地は戊辰戦争と薩英戦争で激しく戦った。今年のNHK大河ドラマ「八重の桜」は東北支援もあって好評の内に始まった。主人公の新島八重とその兄山本覚馬と薩摩とは意外な関係がある。覚馬は江戸で修業中、薩摩藩主島津斉彬のもとに居候していた坪井芳洲の医学塾日習堂で学んでいる。芳洲は斉彬の侍医となり鹿児島で斉彬を看取った医者である。また覚馬は禁門の変では薩摩の家老小松帯刀と共に朝廷を守った旧知の間柄。薩長同盟後、形勢逆転、鳥羽伏見の戦いで捕虜となった覚馬は薩摩藩邸で手厚く遇された。そして覚馬は京都府の顧問に取り立てられ、八重と母、姪も京都に移住した。八重は京都で新島襄と出会い結婚、同志社英学校も開校した。覚馬は京都を近代化した功労者であるが、琵琶湖疏水を完成させ京都の近代化を成就したのは、西郷隆盛の長男菊次郎。菊次郎は第2代の京都市長であった。また鹿鳴館の花と言われた大山捨松は会津鶴ヶ城砲撃を指揮した薩摩の大山巖の後妻である。捨松の兄は会津藩家老、次兄健次郎は白虎隊士（若すぎて外された。のち東大と京大の総長）。八重の6歳下の幼馴染、日向ユキは維新後北海道でもと薩摩藩士内藤兼備の妻となった。このような両者の縁が生まれたのは何故なのか？ 考えてみたい。(座長：坂口 正明)

17：25～17：30 閉会の挨拶 水光 正仁

第65回 日本生物工学会大会 (2013)

会 期 2013年(平成25年)9月18日(水)～20日(金)

会 場 <一般講演(ポスター発表)・シンポジウム・ワークショップ・ランチョンセミナー>

広島国際会議場 (〒730-0811 広島市中区中島町1-5 TEL. 082-242-7777)

<授賞式・受賞講演> 広島国際会議場

<懇親会> ANAクラウンホテルプラザ広島(広島市中区中町7-20 国際会議場より徒歩10分)

<展 示> 広島国際会議場

<若手会交流会> 広島国際会議場

大会ホームページ <http://www.sbj.or.jp/2013/>

主なスケジュール

講演申し込み・要旨オンライン登録 5月 7日(火)～5月28日(火) 正午
 参加登録締め切り 8月20日(火) 正午
 講演要旨集発行 8月25日(日) 予定

	9月18日(水)	9月19日(木)	9月20日(金)
午 前	授賞式・受賞講演	シンポジウム ワークショップ	シンポジウム ワークショップ
昼	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー
午 後	ポスターセッション	ポスターセッション	ポスターセッション
	受賞講演・シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム
夜	懇親会	若手交流会	

参加費

	大会参加費		懇親会費	
	予約	当日	予約	当日
正会員	10,000円	12,000円	8,000円	10,000円
学生会員	6,000円	8,000円	4,000円	5,000円
非会員	14,000円	16,000円	10,000円	12,000円

(消費税を含む。ただし大会参加費は講演要旨集代を含み、正会員、学生会員の参加費は不課税)

参加申込 大会HPの参加申込画面 (<http://www.sbj.or.jp/2013/registration/>) にて登録をお願いします。お支払いは

①カード決済, ②コンビニ決済, ③銀行振込(手数料自己負担)が選択できます。

懇親会 2013年9月18日(水), ANAクラウンホテルプラザ広島(大会会場より徒歩10分), 予定開催時間(18:30～20:30)

ランチョンセミナー 2013年9月18日(水)・19日(木)・20日(金)の昼休憩時を利用して開催します。詳細および参加申し込みは後日大会HPに掲載します。

展 示 2013年9月18日(水)9:30～20日(金)14:00

各種会議 大会期間中に会議を開催予定の方は、大会実行委員会事務局にお申し込みください。会議室の利用に関しては、大会HPおよび本誌会告でご案内します(7月末日締切)。ただし、会場に限りがございますので、ご要望に添えない場合もございます。了承ください。

託児所 大会会場近辺の託児所を大会ホームページで案内します。

大会実行委員会事務局 〒739-8530 広島県東広島市鏡山1-3-1

広島大学大学院先端物質科学研究科内 日本生物工学会2013年度大会実行委員会

FAX. 082-424-7047 E-mail: sbj2013@hiroshima-u.ac.jp

<http://www.sbj.or.jp/2013/>

シンポジウム課題およびオーガナイザー

演者などの詳細は後日大会HPに掲載しますのでご覧ください。

<日本生物工学会本部企画>

- (1) **ここまでわかった醸造微生物の特徴とその利用**
後藤奈美 (酒総研)・西村 颯 (白鶴酒造)・高下秀春 (三和酒類)・坂口正明 (サントリー酒類)
- (2) **発酵ものづくり技術の最前線**
松井和彦 (味の素)・佐久間英雄 (丸菱バイオエンジ)・石川陽一 (バイオット)・飯島信司 (名大)
- (3) **産学官連携によるイノベーション創造の成功事例**
坂口正明 (サントリー酒類)・松井和彦 (味の素)・日野資弘 (アステラス製薬)・北川 泰 (アサヒグルー
プホールディングス)

<一般公募>

- (4) **デザインバイオマス学とスマート発酵工学：植物育種研究と発酵工学研究のコラボレーション**
園元謙二 (九州大)・伊藤幸博 (東北大)
- (5) **ファージバイオコントロールの新展開：Red Queenの挑戦《国際シンポジウム》**
山田 隆 (広島大)・Orawan Chatchawankanphanich (NSTDA, Thailand)
- (6) **水圏バイオマスリファイナリー研究の最新動向**
中島田豊 (広島大) 中野秀雄 (名古屋大)・植田充美 (京都大)
- (7) **極限生物たちが切り拓く未来の環境バイオテクノロジー**
本田孝祐 (大阪大)・小西正朗 (北見工大)
- (8) **極限環境微生物を用いた動植物の機能向上と環境負荷低減の可能性**
宮本浩邦 (千葉大)・酒井謙二 (九州大)
- (9) **生物発光とバイオセンシングの新たな展開**
黒田章夫 (広島大)・上田 宏 (東工大)
- (10) **二次代謝合成系の人為制御による「ものづくり」への応用**
荒川賢治 (広島大)・岩下和裕 (酒総研)
- (11) **代謝工学がもたらした“ものづくり”と今後求められる技術**
松田史生 (大阪大)・白井智量 (理研)
- (12) **実用化に資する動物細胞培養技術～幹細胞の応用とボトルネックの解決に向けて～**
加藤竜司 (名古屋大)・宮本義孝 (成育医療研究センター)
- (13) **アミノ酸化酵素の研究の新展開**
稲垣賢二 (岡山大)・澤 嘉弘 (島根大)
- (14) **無機化合物の微生物変換研究の最前線**
上村一雄 (岡山大)・三本木至宏 (広島大)
- (15) **次世代の植物バイオテクノロジー—未来型分子育種への挑戦—**
岡澤敦司 (大阪府大)・田口悟朗 (信州大)
- (16) **酵母の生存戦略から学ぶ—環境応答機構と産業利用—**
川向 誠 (島根大学)・吉田 聡 (キリン)
- (17) **糸状菌の総合オミックス解析の現状と展開**
岩下和裕 (酒総研)・高谷直樹 (筑波大)
- (18) **温故知新：沖縄の伝統蒸留酒「泡盛」の研究開発**
塚原正俊 (バイオジェット)・高木博史 (奈良先端大)
- (19) **九州における新産業創出に向けた発酵研究**
北垣浩志 (佐賀大)・古川壮一 (日本大)
- (20) **広島から世界を眺めて：展開するバイオマスリファイナリー**
星野 保 (産総研バイオマスリファイナリー研究センター)
- (21) **未来の生物工学を担う若手研究者のキャリアを考える**
榊原陽一 (宮崎大)・井上謙吾 (宮崎大)

講演申し込みと要旨受付

講演申し込み・要旨受付期間
2013年5月7日(火)～5月28日(火) 正午

申し込み資格 一般講演(ポスター発表)の発表者は**2013年会費既納の本会正会員または学生会員に限り**ます(1演題のみ)。講演申し込みには発表者の会員番号が必須となり、会員番号がない場合には登録できません。事前に必ず入会手続きをお願いします。会員番号は入会登録と会費の入金確認ができ次第お知らせしますが、1週間程度かかりますので早めの手続きをお願いします。入会はHP「入会案内」<http://www.sbj.or.jp/join/>よりできます。なお、会員番号が不明の場合は、事務局(info@sbj.or.jp)にお問い合わせください。

発表形式 本年度の一般講演はすべて**ポスター発表形式**で行います。

ポスター掲示時間、**ポスター説明時間**、**ポスターサイズ等**については**演題確定後**、あらためて大会HPおよび本誌会告にて通知致します。なお、実行委員会においてポスター発表より20題程度のトピックスを選定してワークショップを開催予定です(ポスターとワークショップ両方で発表)。

受付期間 2013年5月7日(火)～5月28日(火) 正午まで。

講演申し込みと要旨は同時に締め切ります。締め切り後は、新規申し込み、要旨を含む内容修正はできません。終了前はアクセスが集中し申し込みできない場合がありますので、早めの申し込みをお願いします。

申し込み・要旨登録方法

以下の手順に従ってお申し込みください。本会大会は講演申し込み時点で講演要旨の登録が必要です。

- ① まず、<参加申込>画面で参加申し込みを行ってください。折り返し「参加申込番号(ID: 例E0001)」と「パスワード」が送付されます。
- ② 次に、<一般講演申込>画面で、「参加申込番号(ID)」と「パスワード」でログインし、下記の注意事項を参考に講演要旨の登録をしてください。
- ③ 要旨の登録が完了すると、画面に「受付番号」が表示されます。受付番号は必ず記録、保存をお願いします。トラブル発生時の問い合わせに必要となります。なお、講演申込み・要旨の登録システムに関して不明な点は〈株式会社ダイナコム (sbj2013@dynacom.co.jp)〉にお問い合わせください。

要旨入力画面での諸注意 ※入力の際には画面の注意事項をよくお読みください。

- 文字数** 全角823文字(半角1646文字)以内に収めて下さい(タイトル、氏名、所属、キーワードを含む)。ブラウザのフォント設定により、入力エリアの行の文字数が変動することがあります。
- 所属略称** 英文・和文ともに紛らわしくない限り短い省略形とし、1) 大学院→院、2) 大学院しかない場合は院も省略(例: 奈良先端大・バイオ)、3) センター→セ、4) 研究所→研、5) 市立、府立、県立の「立」は削除、6) 企業の場合、(株)は不要、7) Graduate School of Biotechnology→Grad. Sch. Biotechnol、8) 通称がある場合は使用(例: ICBiotech.)。
- 分類コード** 第1、第2希望ともに選択してください。どうしても第2希望で該当するものがない場合には、第1希望と同じものを選択してください。
- キーワード** キーワード欄の横ボタンで一覧表が表示されますので選択してください。一覧表にない場合は、手動で入力下さい。途中に空欄を作らないように上から順番に英語で、1つは必須で4つまで可能です。
- 大会トピックス公開の希望** 本会では、年次大会を産学官の会員の貴重なシーズ公開の場と位置づけ、実用化が期待される講演発表についてマスコミ等の報道により研究シーズを広く公開していく方針です。シーズ公開の希望、取材対応の可否をご申告ください。「大会トピックス公開の希望」でYesに付けられた発表から、実行委員会において20題程度のトピックスを選定し、全国TLO、バイオビジネスシーズに関心のある団体等に公表する予定です。大会トピックスに選定された演題に対しては以下の対応をいただくことになります。

- ・本大会前に実施する記者発表会における研究内容の公開
- ・大会実行委員の選定による「トピックス集」への原稿作成
- ・新聞社などから問い合わせがある場合は、記者の取材対応
- ・ワークショップ（10分程度を予定、午前中）とポスターの両方で発表（同日午後）

■備考（通信欄） 発表者が20人を超える場合や氏名の漢字など、印刷時の希望事項などをお書きください。文字数は全角127文字以内でお願いします。なお、最終的には大会実行委員会の判断で、ご希望に沿えない場合もありますのでご了承ください。

分類コード

技 術 分 野		対 象	
分 野	第1希望, 第2希望の選択項目		
遺伝学, 分子生物学 および遺伝子工学	1 分類, 系統, 遺伝学 2 遺伝子工学	原核微生物 真核微生物	システムバイオロジー ナノバイオテクノロジー
酵素学, タンパク質工学 および酵素工学	3 酵素学, 酵素工学 4 タンパク質工学 5 抗体工学	酵母 糸状菌 アーキア	マイクロアレイ ゲノミクス プロテオミクス
代謝生理学・発酵生産	6 発酵生理学, 発酵工学 7 代謝工学 8 オミクス解析	特殊環境微生物 光合成微生物 藻類	メタボロミクス ケミカルバイオロジー バイオイメージング
醸造・食品工学	9 醸造学, 醸造工学 10 食品科学, 食品工学	植物細胞 動物細胞	PCR 分子育種
環境バイオテクノロジー	11 環境浄化, 修復, 保全技術 12 環境工学, 廃水処理技術 13 バイオマス, 資源, エネルギー工学	植物 動物 有機酸	情報 情報伝達 培養制御
生物化学工学	14 生物化学工学 15 培養工学 16 バイオプロセス	乳酸 脂質	固定化 分離, 精製
植物バイオテクノロジー	17 植物細胞工学, 組織培養, 育種工学	糖, 糖鎖 核酸, ゲノム プラスミド, フェージ	組織培養 組織, 器官 医薬, 医薬品
動物バイオテクノロジー	18 生体医用工学, 人工臓器 19 セル&ティッシュエンジニアリング	RNA, RNAi 生理活性物質	食品 免疫
バイオ情報	20 生体情報工学, バイオインフォマティクス 21 システムバイオロジー	抗生物質 アミノ酸	ロボット 生態工学
センサー計測技術	22 センサー, 計測工学 23 バイオセンシング, 分析化学	ペプチド 生体高分子 タンパク質	CO ₂ H ₂ エタノール
生体関連化学	24 有機化学, 高分子化学 25 生合成, 天然物化学	抗体 酵素: 糖質関連 酵素: ペプチド・ アミノ酸関連 酵素: 脂質関連 酵素: その他	難分解物質 生分解物質 廃棄物 水 土壌 その他
生体分子工学	26 核酸工学 27 ペプチド工学 28 脂質工学 29 糖鎖工学		

参加費支払い方法

大会参加費のお支払いは、①カード決済、②コンビニ決済、③銀行振込（手数料自己負担）から選べます。手順は以下のとおりです。

- 1) 参加申込画面にて登録を行い、支払い方法を選択してください。会員番号は会誌送付ラベルをご参照ください。
- 2) 参加申込番号とパスワードが記載された確認メールが届きます。
- 3) カード決済とコンビニ決済は、確認メールに記載のURLから決済画面に進み、参加申込番号とパスワードでログインして下さい。銀行振込を選択された方は、メールに記載された口座にお振り込みください。

※振込票は送付されません。

※懇親会参加のみ、要旨集のみの申込も参加申込画面にて受け付けます（要旨集の発送は大会終了後となります）。